

岩手県金融経済概況（平成 29 年 4 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復基調を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は底堅く推移している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。設備投資は増加傾向を維持している。

生産は、横這い圏内の動きとなっている。

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善しているが、雇用者所得は前年を下回っている。

消費者物価（除く生鮮食品）は、3 ヶ月連続で前年を上回った。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 29 年 4 月）は、衣料品等が不調なことから 5 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 Δ 1.7%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 29 年 3 月）は、3 ヶ月振りに前年を上回った（前年比+1.3%）。

新車登録・届出台数（登録車+軽；平成 29 年 4 月）は、8 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+6.2%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 29 年 4 月）は、2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 Δ 3.2%）。

新設住宅着工戸数（平成 29 年 3 月）は、5 ヶ月振りに前年を上回った（前年比+2.6%）。

—— 貸家が 2 ヶ月振りに前年を下回った（前年比 $\Delta 31.6\%$ ）ものの、主力の持家が 3 ヶ月振りに前年を上回った（同 $+30.2\%$ ）ほか、分譲も 3 ヶ月連続で前年を上回った（同 $+40.9\%$ ）。

民間設備投資（短観ベース；平成 28 年度実績見込み、29 年度計画）は、28 年度は翌年度への繰り越し等から全産業で前年を下回る見込み（前年比 $\Delta 3.8\%$ ）となったものの、29 年度は前年を上回る計画（同 $+9.1\%$ ）となっている。

—— 平成 28 年度（実績見込み）は、翌年度への繰り越し案件がみられたこと等から、製造業では前年を 1 割方下回るほか、非製造業は前年並みとなり、全産業では前年を下回る見込み。

—— 平成 29 年度（計画）は、製造業、非製造業とも前年度からの繰り越し案件に加え、新製品対応や能力増強・更新投資もみられ、全産業で前年を上回る計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成 29 年 3 月）は、17 ヶ月振りに前年を上回った（前年比 $+11.1\%$ ）。

3. 生産動向

生産は、横這い圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成 29 年 2 月）は、2 ヶ月連続で前月を上回った（前月比 $+3.1\%$ ）。

—— 2 月の動向を主要業種別にみると、化学、輸送用機械、情報通信機械が上昇し、電子部品・デバイス、食料品、生産用機械が低下した。

なお、四半期の動きをみると、28/4～6 月に 5 四半期振りに前期比が増加に転じた（前期比 $+3.0\%$ ）ものの、7～9 月（同 $\Delta 0.9\%$ ）と減少。その後、10～12 月（同 $+0.7\%$ ）は増加している。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善しているが、雇用者所得は前年を下回っている。

有効求人倍率（季節調整値；平成 29 年 3 月）は、1.37 倍と 3 ヶ月連続で同水準となった（平成 25 年 5 月以降 47 ヶ月連続で 1.00 倍以上を記録）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；平成 29 年 3 月）は、前年を上回った（前年比 $+1.4\%$ ；平成 24 年 3 月以降 61 ヶ月連続で増加）。

雇用者所得（県内合計値；平成 29 年 2 月）は、名目賃金指数が 7 ヶ月連続で前年を下回る（前年比△2.7%）なか、常用雇用指数が前年並みとなった（同 0.0%）ことから、3 ヶ月連続で前年を下回った（同△2.7%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 29 年 3 月）は、食料（除く生鮮食品）、光熱・水道の上昇等を主因に 3 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+0.8%）。

6. 企業倒産

企業倒産（平成 29 年 4 月）は、3 件、1.0 億円（前年同月；4 件、3.9 億円）と落ち着いた動き。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（平成 29 年 2 月）は、ともに前年を上回った。また、貸出約定平均金利は、横這い圏内の動きとなっている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>